

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) 日本體育總體規劃:第2期體育基本計劃的成果驗證與第3期體育基本計劃的特徵(日本のスポーツ・マスタープラン:第2期スポーツ基本計劃の成果の検証と第3期スポーツ基本計劃の特徴)	共著	2022年12月	教育部體育署、國民體育季刊,51(4):60-65,132.	本論は、第2期スポーツ基本計劃の成果を検証し、その成果を踏まえて策定された第3期スポーツ基本計劃の特徴に焦点をあてて議論し、紹介した。 (総ページ数:7頁) 共著者:日比野幹生、 <u>趙倩穎</u> 担当部分の概要: 台湾語論文の執筆、査読対応
2 (学術論文) 日本および中国の地域スポーツクラブにおける組織文化の尺度開発に関する研究 《筆頭論文、査読付》	共著	2021年8月	日本体育大学、日本体育大学紀要,50:1095-1109.	本論では、日中両国における地域スポーツクラブの組織文化を測定する一般的な尺度を開発することを目的とした。得られた13因子構造の尺度に対して確認的因子分析、尺度構成概念信頼性の検証などを行った結果、その妥当性と信頼性を確認した。 (総ページ数:15頁) 共著者: <u>趙倩穎</u> 、清宮孝文、日比野幹生、依田充代。 担当部分の概要:調査研究の実施、データ分析、考察、研究全体の総括、論文の執筆
3 (学術論文) 第32届夏季奥运会延期对日本的影响及其相应对策分析(第32回夏季オリンピックの延期が日本に与える影響と対策の分析) 《筆頭論文、査読付》	共著	2020年7月	国家体育总局体育科学研究所、中国体育科技56(7):9-13.	本論では、東京オリンピック延期が日本社会にどのような影響を与えているか及びそれらの対策を明らかにすることを目的とした。延期が日本の企業、都市、国民、スポーツ選手に影響があった。国はオリンピック会場やボランティアの確保に取り組んでいるが、2020年4月の時点では、競技力向上の対策は特に実施せず、コロナ拡大感染防止を優先的に実施したことがわかった。 (総ページ数:5頁) 共著者: <u>趙倩穎</u> 、清宮孝文。 担当部分の概要:情報収集、考察、研究全体の総括、論文の執筆
4 (学術論文) 日本备战2020年东京奥运会和残奥会的强化战略(査読付)(日本における2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた強化戦略) 《筆頭論文、査読付》	単著	2019年11月	国家体育总局体育科学研究所、中国体育科技55(9):78-83.	本論では、日本における東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた国の政策や競技者育成の取り組みを明らかにすることを目的とした。日本は30の目標メダル設定、ジュニアを対象に才能発掘のJ-STARプロジェクト、競技者への医科学支援システムなどの実施がわかった。 (総ページ数:6頁)
5 (学術論文) 日本および中国における地域スポーツクラブの組織文化に関する比較研究 《筆頭論文、査読付》	共著	2019年1月	日本スポーツ産業学会、日本スポーツ産業学研究29(1):5-23.	本論では、経営学の組織文化尺度が日中両国に適用可能な地域スポーツクラブの組織文化尺度として妥当であるかの確認をすることと、その尺度より日中の地域スポーツクラブの組織文化の特徴を明らかにすることを目的とした。4つの因子を抽出し、日中の相違点として、日本においては現実的問題認識因子から経済機会因子及び理念的課題認識因子から指導機会因子への正の影響が見られたのに対し、中国では影響がみられないという特徴。また、日中の共通点として、理念的課題認識因子から経済機会因子への正の影響がみられるという特徴が得られた。 (総ページ数:19頁) 共著者: <u>趙倩穎</u> 、北村薫、依田充田、内藤久士。 担当部分の概要:調査研究の実施、データ分析、考察、研究全体の総括、論文の執筆